

教団新報

定 価 1 部 140 円 (本 体 133 円 千 共 200 円)
予 約 購 読 料 1 年 分 千 共 5,000 円
紙 代 の み 3,500 円
振 替 00140-9-145275
本 紙 を 購 読 ご 希 望 の 方 は 、 前 金 を
そ え て 、 お 近 く の キ リ ス ト 教 書 店
へ お 申 し 込 み 下 さ い 。
教 会 の 購 読 料 は 負 担 金 に 含 み ま す 。

発行所 日 本 基 督 教 団
169-0051 東 京 都 新 宿 区 西 早 稲 田 2-3-18
日 本 キ リ ス ト 教 会 館 内 電 話 03(3202)0546
FAX 03(3207)3918
E-mail:shimpoh-c@uccj.org
発 行 人 竹 前 昇
編 集 主 筆 竹 澤 知 代 志
印 刷 所 株 式 会 社 き か ん し



沖縄教区との関係回復を願い

第 3 4 総 会 期

第 3 回 常 議 員 会

重要案件で議論深められる

憲 第 9 条 ・ 合 同 の と ら え な お し ・ 式 文 改 訂 等 々 、 普 段 に も 増 し て 重 要 案 件 ・ 課 題 が 議 論 さ れ た 常 議 員 会 で あ っ た 。 継 続 的 に 取 り 扱 わ れ て き た こ れ ら の 課 題 は 、 そ こ に 至 る 複 雑 な 経 緯 に 強 く 拘 り も あ り 、 従 来 は や や も す べ し 議 論 が 噛 み 合 わ な い と い う 感 が あ っ た 。 今 常 議 員 会 で は 、 従 来 よ り は 中 味 に 入 っ た 議 論 が な さ れ た 。 更 に 議 論 が 深 め ら れ 、 一 歩 で も 半 歩 で も 前 進 し 続 け る こ と が 期 待 さ れ る 。

財政関連に論議集中・総幹事報告

第 34 総 会 期 第 三 回 常 議 員 会 は 、 一 〇 月 二 四 日 午 後 一 時 三 〇 分 か ら 二 日 間 、 教 団 会 議 室 で 開 会 時 三 〇 人 全 員 が 出 席 し て 開 催 さ れ た 。
総 幹 事 報 告 の 中 で 竹 前 昇 総 幹 事 は 、 「 歳 入 ・ 歳 出 と も 適 正 な 規 模 ま で 削 減 に 努 め て 行 き た い 。 そ の 上 で 運 転 資 金 (八 、 〇 〇 万 円) 、 必 要 退 職 金 引 当 金 (一 、 〇 〇 万 円) 、 減 価 償 却 額 (約 八 、 四 〇 〇 万 円) 不 足 の 解 消 が 大 き な 課 題 と な る 。 阪 神 大 震 災 救 援 第 二 次 募 金 の 会 計

に つ い て は 、 兵 庫 教 区 と 話 し 合 っ っ 。 教 団 特 別 財 産 は 、 教 会 ・ 伝 道 所 一 四 〇 件 、 セ ン タ ー ・ 施 設 等 三 件 の 合 計 一 六 三 件 と な る 」 と 報 告 し た 。
こ の 総 幹 事 報 告 に つ い て 、 財 政 関 連 に 論 議 が 集 中 し っ 。 竹 前 総 幹 事 は 質 問 に 答 え て 、 「 教 団 財 政 は 予 断 を 許 さ な い 状 況 だ が 、 総 幹 事 就 任 後 五 年 た っ て も 、 教 団 財 政 は し っ か り と は 分 か ら な い 。 外 部 監 査 を 受 け る 状 態 に は な い と い う の が 現 状 認

識 だ 。 教 団 の 特 別 財 産 も 今 回 、 初 め て 公 表 出 来 た 。 教 区 活 動 連 帯 金 の 名 で 、 議 事 と し て 常 議 員 会 に も 報 告 さ れ な い 金 が 年 間 四 、 〇 〇 万 円 あ る の は な ン と か し な け れ ば な ら な い と 述 べ た 。 こ れ に 対 し 「 教 団 総 会 の 議 決 に よ っ て 、 旧 平 衡 資 金 が 教 区 活 動 連 帯 金 と な り 、 地 方 教 区 の 宣 教 を 支 え て 来 た 。 訳 の 分 か ら ぬ 金 で は な い 」 「 財 政 を 常 議 員 会 で す っ と 審 議 し な っ た 紛 争 の 後 遺 症 で 、 現 在 あ い ま い な 状

況 に 置 か れ て い る 。 す ざ ん な 会 計 は 困 っ た こ と で 、 は つ き り さ せ る べ き 」 「 実 態 に 合 わ な い こ と を 未 だ に 行 っ て い る 。 教 区 の 違 い は 歴 然 と し て お り 、 連 帯 金 の 配 分 を 止 め る 時 期 に 来 て い る 」 な どの 意 見 が 相 次 ぎ 出 た 。 ま た 、 竹 前 総 幹 事 が 「 聖 餐 式 の 執 行 に つ い て の 質 疑 や 問 い 合 わ せ が 多 く な っ た 。 常 議 員 会 と し て 取 り 上 げ る よ う 要 望 す る 」 と 報 告 し た こ と に ぶ れ て 、 山 北 宣 久 議 長 は 「 い わ ゆ る フ リー

聖 餐 に つ い て は 危 機 感 を 抱 い て お り 、 放 置 す る つ も り は な い 。 こ れ が 崩 れ る な ら ば 、 教 団 の 一 致 が 失 わ れ る 」 と 述 べ た 。

中 越 地 震 救 援 活 動 に つ い て 、 小 橋 孝 一 被 災 教 会 会 堂 等 再 建 支 援 委 員 会 委 員 長 は 「 募 金 額 三 、 七 四 五 万 円 (8 月 31 日 現 在) の 中 か ら 、 被 災 信 徒 見 舞 い (五 六 件) 八 一 一 万 円 、 栃 尾 教 会 ・ 牧 師 館 補 修 二 五 万 円 、 長 岡 教 会 ・ 牧 師 館 補 修 八 三 万 円 合 計 一 、 一 〇 九 万 円 余 を 支 援 し た 」 と 報 告 。 続 い て 、 三 浦 修 関 東 教 区 議 長 が 、 被 災 五 教 会 の 現 状 を 説 明 し て 、 一 層 の 支 援 を 訴 へ た 。



小橋孝一支援委員長による募金状況の報告

〇 〇 万 円 減 、 全 体 で 三 、 〇 〇 〇 万 円 減 と 厳 し い 状 況 が 続 い て い る 」 と 報 告 。 質 問 に 対 し て 、 秋 山 徹 出 版 局 長 は 「 讃 美 歌 21 が 前 年 比 一 、 〇 九 〇 万 円 落 ち 込 ん で 、 苦 戦 の 原 因 と な っ て い る 。 在 庫 管 理 に つ い て は 、 五 年 以 内 に 半 減 す る と の 目 標 に 向 け て 鋭 意 努 力 中 」 と 答 え た 。 こ れ に 対 し 、 出 版 局 の 経 営 責 任 が ど こ に あ る の か 。 出

版 局 長 な の か 、 理 事 会 な の か 、 教 団 議 長 (常 議 員 会) な の か 、 経 営 責 任 を 明 確 に す る 必 要 が あ る 」 と の 意 見 が 出 た 。
年 金 局 理 事 会 報 告 で は 、 小 林 貞 夫 理 事 長 が 「 長 期 見 通 し で の 四 九 億 円 〇 九 五 億 円 の 積 み 立 て 金 不 足 を 補 う た め 、 当 分 、 毎 年 一 億 五 千 万 円 の 積 み 増 し が 必 要 。 こ の た め 、 〇 七 年 度 か ら 七 二

歳 退 職 を 満 額 給 付 と し 、 六 五 歳 67% 、 六 六 歳 71% 、 六 七 歳 75% 、 六 八 歳 79% 、 六 九 歳 84% 、 七 〇 歳 89% 、 七 一 歳 94% の 減 額 給 付 と す る 」 と の 危 機 打 開 案 を 提 案 し た 。

こ れ に 対 し 、 七 二 歳 給 付 で は 支 持 を 得 ら れ な い 。 給 付 額 を 下 げ て も よ い か ら 、 六 八 歳 あ る い は 七 〇 歳 給 付 と す る こ と は 出 来 な い か 」 「 全 隠 退 教 師 の 実 態 調 査 を し て い る か 。 無 年 金 の 人 が ど の ぐ ら い い る の か 、 そ こ を 押 え な い で 、 年 金 討 議 を す る の は 無 理 が あ る 」 「 将 来 の 金 利 上 昇 を 期 待 し た 打 開 案 で は な い の か 」 な ど 活 発 な 意 見 が 相 次 ぎ 出 た 。 小 林 理 事 長 は 、 質 問 に 対 し 「 現 受 給 者 に は 適 応 せ ず 、 減 額 し な い 。 七 二 歳 未 満 の 早 期 受 給 者 の 給 付 額 は 終 身 変 更 し な い 」 と 答 え た 。 常 議 員 会 は 年 金 局 理 事 会 報 告 と し て 承 認 し 、 実 質 審 議 は 次 回 以 降 に 持 ち 越 さ れ る こ と と な っ た 。

(永 井 清 陽 報)

「合同のとらえなおし」大いに議論

二 日 目 の 午 後 は 「 合 同 の と ら え な お し 」 関 連 議 案 に 多 く の 時 間 が 割 か れ た 。

ま ず 、 そ れ ぞ れ の 教 区 で の 取 り 組 み に つ い て 各 教 区 議 長 か ら 一 つ づ つ 報 告 が な さ れ た 。 教 団 と 距 離 を 置 く こ と を 決 め て い る 沖 縄 教 区 に 対 し て 、 ど の よ う な 言 葉 を も っ て 応 答 し て い く か 、 関 係 回 復 を 願 い 、 打 開 の 道 を 探 る 各 教 区 の 姿 勢 や 苦 悩 が 語 ら れ た 。

山 北 宣 久 議 長 か ら 、 現 在 も な お 山 里 勝 一 沖 縄 教 区 議 長 に 声 を 掛 け 続 け て お り 、 こ の 常 議 員 会 に も 出 席 を 願 い 、 対 話 と 関 係 構 築 を 求 め て 沖 縄 教 区 の 訪 問 を 願 っ て い る こ と な ど 手 紙 フ ァ ッ ク ス な ど で 連 絡 を 続 け て い る と い う 報 告 が あ っ た 。 基 本 的 に は 前 回 常 議 員 会 の 時 と 現 状 は 変 わ っ て い な い 。 和 田 献 一 常 議 員 は 「 合 同 に 関 す る 議 定 書 」 を 読 み 直

し て み て 得 ら れ た 認 識 に つ い て 概 ね 次 の よ う に 見 解 を 述 べ た 。 「 議 定 書 」 に よ る と 、 両 教 団 が 「 合 併 」 で は な く 「 合 同 」 と し た の は 、 当 時 の 両 教 団 の 背 後 に あ っ た 歴 史 的 事 情 が 影 響 し て い る と い う 。 当 時 、 沖 縄 と 本 土 と で は 法 体 系 が 違 っ て い た た め 、 合 併 は で き な っ た 。 七 二 年 の 沖 縄 本 土 復 帰 後 、 新 た な 法 体 系 の も と に 合 併 す べ き だ っ た が 、 し な か っ

た 。 翌 七 三 年 、 沖 縄 キ リ ス ト 教 団 は 解 散 登 記 し た 。 宗 教 法 人 法 の 合 併 手 続 き で な く 、 教 団 の 規 則 変 更 に よ り 合 同 が 行 わ れ た こ と な ど 、 ま ず 「 合 同 」 が 持 っ て い た 法 的 問 題 を 整 理 す る 方 法 を 議 論 し た い 。

今 後 の 取 り 組 み 方 に つ い て は 、 西 田 直 樹 常 議 員 は 、 「 教 団 成 立 当 初 か ら ど う い う 合 同 教 会 を つ く っ て い く か の 議 論 が な さ れ て こ な か

っ た の で 、 議 論 の 場 を 作 る べ き で あ る 」 と 述 べ た 。 ま た 、 長 山 信 夫 常 議 員 は 、 「 各 教 区 か ら 提 案 さ れ た 議 案 も 、 沖 縄 と の 関 係 回 復 の た め に ど う す る か と い う 具 体 的 提 案 が な い の で 、 具 体 案 を 聞 く フ ロ ー ス が 必 要 で あ り 、 こ の 問 題 を ど う 収 束 に 向 か せ る か を 考 え な け れ ば な ら な い 」 と 語 っ た 。 関 東 教 区 提 案 の 「 合 同 の と ら え な お し 」 及 び 沖 縄 教 区 と の 関 係 回 復 に 関 す る 件 」 に つ い て 、 石 橋 秀 雄 常 議 員 は 、 「 関 東 教 区 の 議 案 は 、 合 同 の と ら え な お し の 議 案

と い う よ り 、 そ れ を 切 り 離 し た か た ち で 、 罪 責 と い う 視 点 か ら 関 係 回 復 を 求 め て い く こ と に 全 力 を 注 ぐ も の で あ る 」 と 説 明 し た 。

石 橋 常 議 員 は ま た 続 け て 「 沖 縄 教 区 の 常 置 委 員 か ら 話 を 聞 い た が 『 沖 縄 の 将 来 教 会 の 在 り 方 を 検 討 す る 特 設 委 員 会 』 (将 来 委 員 会) で 沖 縄 教 区 の 方 向 性 が 話 し 合 わ れ て お り 、 そ れ が 出 る ま で は 対 話 は 難 し い だ ろ う と い う こ と だ っ た の で 、 い ま は 待 つ 以 外 に な い だ ろ う 」 と の 認 識 を 示 し た 。

さ ら に 、 各 教 区 で の 取 り 組 み 方 の 問 題 に つ い て 、 三 回 教 団 総 会 や 三 二 回 総 会 に 遡 っ て 、 合 同 関 連 議 案 が ど う 扱 わ れ て き た か 、 な ど に つ い て 、 認 識 の 違 う 立 場 か ら の 発 言 や 、 今 後 の 議 論 の 方 向 性 を 定 め た い と す る 意 見 、 沖 縄 教 区 の 「 将 来 委 員 会 」 で の 提 言 な ど 沖 縄 教 区 の 意 志 を 確 認 し た い 、 な ど の 意 見 が 出 さ れ 、 関 連 諸 議 案 は 継 続 審 議 と な っ た 。

議 長 か ら は 、 総 会 か ら 託 さ れ た 議 案 に つ い て は い ず れ 採 決 を し な け れ ば な ら な い と の 見 解 が 述 べ ら れ た 。

(藤 盛 勇 紀 報)

教憲第9条委報告を巡り論議

教憲第9条を検討する件について検討作業委員会の報告があった。前回七月の常議員会には、9条変更は困難との検討委員会の判断が示されていたが、その後、委員会にて議論を進めて、今常議員会に以下の具体的な提言がなされた。

①補教師にも聖礼典の執行を認める。そのために、教憲第9条を以下のように変更する。「本教団の教師は、神に召され正規の手続きを経て献身し、按手礼を領した者とする。教師はこれをわけて、正教師および補教師とする。これに伴い、関係教規を変更する。

②補教師試験課目を見直し、神学校で履修した課目について試験を免除する。

③補教師の二年目に教団主催の補教師研修を行う。

①は正教師、補教師の区別を残しつつ、補教師となるときに按手礼を受けるというもの。按手を受けた補教師に聖礼典執行が可能となる。これにより教師として各教会における教務遂行上の信仰職制的矛盾は解消されるとしている。伝道師、牧師の区別は従来どおり残している。教区議長、副議長、教団では書記についても正教師であることを求めることは従来どおりとなる。

②、③については、教師育成の必要を踏まえ、補教師試験、正教師試験の制度を維持し、なおかつ、研修制度を設けることとしている。また事実上のABCコースの撤廃となる。

前回常議員会で委員会が報告した教団の教会論、教師論をどう確立してゆくかという根本的な課題について一致を見るには時間をかけた議論が必要である。し



提言を説明する藤掛順一検討作業委員会書記

かし、補教師でありつつ主任担任教師として教会に仕える教師が聖礼典の執行ができないという矛盾・不都合を早急に解決するため、変化を必要最小限度にとどめた「苦肉の策」として本提言を提出するとし、常議員会に判断を求めた。提言を巡って、一部支持

する意見はあったものの、まず改定、非改定を先議すべきという意見、二種教職制を残すことを問う意見、作業委員会は議論に資する客観的な資料を提示するのが設置目的であり具体的な提言は馴染まないとする意見、また、教憲変更に反対する意見などが出された。

出版局勘定の整理に関する件可決

中で、また信念により正教師試験を受験してこなかった補教師もある中で、この提言は受け入れ難いのではないかと思われる。

今後の議論の進め方について、総会期を睥いても長期的に検討すべきとの意見も出されたが、議長は「今総会期における責任を果たすことが重要」と述べた。

来年二月の常議員会にさ

出版局勘定の整理に関する件として、二八行にもなる詳細な提案理由を記して次の議案が提出された。「出版局勘定九七、六九九、二六八円、および未収入金の内、一三、五〇〇、〇〇〇円を出資金(出版局・元入金)に振替える。」

計良祐時幹事が議案と提案理由を朗読した後、竹前昇総幹事は、提案理由に基づき、特に次の点を強調した。「本来は事務局と出版局との間で業務の合理性を得るために設けられたもので、その都度現金の支払いを受け取ることをせず相手に替わって支出すること

出版局勘定の整理に関する件として、二八行にもなる詳細な提案理由を記して次の議案が提出された。「出版局勘定九七、六九九、二六八円、および未収入金の内、一三、五〇〇、〇〇〇円を出資金(出版局・元入金)に振替える。」

負担金1%減緊縮予算案可決

飯塚拓也予算決算委員長は〇六年度予算案概要について、次のように要点を説明した。

一、教団事務局の支出削減が進み、教団諸教会の財政事情等を考慮した結果、負担金収入を前年度予算に對して一％(二七八万円)減として予算を立案した。出版局繰入金、教団運営資金繰入金共〇五年度予算と同様の円とした。

〇五年度に比較して増減はあるが、収入に見合った削減策を実施した。人件費も昨年に対して一、〇〇〇万円以上の削減をしている。職員、嘱託職員が退職した後、人事配置により増員しなかったことによる。なお、これまで人件費に含まれていた部落解放センターの人件費は新設項目に移した。

三、教団負担金の賦課基準については、今年度は昨年の改定を引き継ぐ。

次に年度報告C表及び記入要領改定案を説明した。これは各教区から提出されるC表の記載を統一し、教区負担金算定に当って公平性を確保することが目的である。

尚幾つかの点について詳細を尋ねる質疑応答の後、原案は可決された。

続いて、有澤禧年会計監査委員より、今年七月の常議員会に提出した「日本基督教団監査委員会報告に関する件」

【第三次取扱事項】全教区会計ソフトの一本化の推進に関する件

式文改訂作業現況報告

第31回教団総会は「新しい式文を改訂して、教会で実際に用いることができるものにするための具体的な作業をする小委員会」の設置を決議し、これに基づいて信仰職制委員会のもとに「式文改訂小委員会」が構成された。

今常議員会は、岡本知之信仰職制委員長より「式文改訂作業現況報告について、教団諸教会における試



未収金の処理について質問する遠藤道雄常議員

摘した。北紀吉東海教区議長は、活動優先で、予算を超えてやってきた教団構造の問題であり、それは正こそ懸案、経理処理では済まないものがあると指摘した。

斉藤仁一常議員が「今回の処理は脱税に当たらないのか」と訊ねたのに対して計良幹事は「数字は事務局の資産なので税金上は問題ない」と答えた。また飯塚予決委員長、本村利春出版局主事も脱税には当たらないと答弁した。

長山信夫常議員は、「組織管理上の不徹底という言葉では説明できないものがある。責任問題は避けられない、明確にして処理すべき」と主張し、また「紛争が集結し再建期に入っている、紛争期の総括が必要」と述べた。これに対し、竹前総幹事は「意見として尊重するが、責任問題或いは総括は、別議案で扱べき」と答えた。

挙手による採決の結果、賛成多数で可決された。

用に供し、更に広く意見を徴した上で最終的な式文試案を調整して、常議員会での承認を得たら、新式文として発行したいというものである。

常議員会は、この「式文改訂作業に関する現状報告について」の報告を受けたことを承認したが、「信仰職制委員会はいくれども試用版作成であることがわかるようにしないと誤解を招く」との意見があった。(松本のぞみ報)

日本キリスト教社会事業同盟の現状と課題

—日本基督教団との関係をめぐって—

日本キリスト教社会事業同盟副理事長 村田 哲康

日本キリスト教社会事業同盟とは

我が国の社会福祉事業は、社会福祉基礎構造改革等に見られるように、今、大きな転換期を迎えている。そのような状況下にあつて、キリスト教社会福祉事業は混迷を極め、その存在意義や在り方が改めて問われている。キリスト教社会福祉事業は、キリストのからだなる教会の奉仕の業であり、教会のこの世に対する姿勢に深く根ざしている。この時代において、キリスト教



本年度の総会・研修会出席者全員で

社会事業同盟と教会の関係

設立以来半世紀の歴史的歩みをなしてきた社会事業同盟と教団は、どのような関係にあったのだろうか。長年社会事業同盟の中心的存在として重責を担ってきた阿部志郎先生(横須賀キリスト教社会館々長、社会事業同盟顧問)は、『キリスト教と社会福祉の戦後』という著書の中で次のように述べておられる。『教団創立以来、特に戦後における教団と社会事業との関係を顧みると、不信と批判の前半の一〇年、互い

に理解しようと努力した後半の一〇年を経て、ようやく両者は信頼と協力の時代を迎えようとしている。』このような両者の関係を推し進めたのは、教団でもなければ社会事業同盟でもなく、両者が加盟している当時の内外協力会(現在の宣教協力協議会「COC」)であった。当事者が自主的に協力の機運を盛り上げたのではなく、COCの媒介によって両者の歩み寄りがあったというところに問題の困難さ

が示されている。

その後、教団の混乱の中で両者の協働の業は一時停滞したが、その間も、COCを通して関係を維持してきた。

今、時代は変わり、両者が主體的にこの問題を受けとめ、新たな協力関係を見いだす段階に達しているのではないだろうか。両者が相互の立場と役割を認め合いながら、それぞれの宣教の責任を如何に担っていくかという課題の解決は容易なことではない。

教会の「宣べ伝える」業としての伝道と社会福祉事業の「仕える」業としての



PCK 代表来訪、社会事業同盟との交流会

社会事業同盟の活動状況と課題

社会事業同盟の組織としての目的は「会員相互の協力により、他の教派団体とともにキリスト教社会事業を推進すること」としている。

社会事業同盟には、我が国の社会福祉分野における主要領域の多くの事業が加盟し、互いに連携をとりながら、主たる在る交わりと、み言葉による実践を深めるための事業活動を展開している。

事業活動として毎年実施している取り組みとして、クリスマスチャーチャー養成のための青年を対象とした

とした運動の中に位置づける不可分な関係にある。教団はこれらを自らの問題として取り上げ、教団を中心

福祉サマーキャンプ、キリスト教高齢者福祉研修会、国際交流として大韓イエス教長老会統合(PCK)社会奉仕部との相互訪問交流等を実施している。

また、教団に属する諸教会及び教団関係学校ならびに個人の温かい支援を得てキリスト教界総合福祉基金を実施しており、インドやフィリピンのキリスト教社会福祉事業や国内の開拓的、先駆的なキリスト教社会福祉事業への財政的援助等をさせて頂いている。

そして、広報活動として、ニュースレター(年二回)、研究紀要「ホーリスティッ

東京神学大学 第37回 教職セミナー

〒181-0055 三鷹市大沢3-10-30
0422(32) 4185

主 題 「現代における『神の像』の問題」
日 時 二〇〇六年一月十日(火)〜十二日(木)
会 場 国立オリンピック記念青少年総合センター
開会礼拝
主題講演 「現代における『神の像』の問題」
学 長 山内 眞

シンポジウムⅠ
教 授 棚村 重行
教 授 大住 雄一
教 授 関川 泰寛

シンポジウムⅡ
教 授 中野 実
教 授 芳賀 力
助教授 神代真砂実

特別講演 「加齢と認知症をめぐって」(仮題)
聖マリ安娜医科大学理事長 長谷川和夫
シンポジウムⅢ
教 授 近藤 勝彦
教 授 山口 隆康
教 授 朴 憲郁
助教授 神代真砂実

閉会礼拝
費 二五、〇〇〇円
申 込 案内が届いていない場合は、郵便振替(00160151188941 東京神学大学学外活動委員会)に会費を振り込んで下さい。振替用紙の通信欄に、生年月日、教会名(東神大卒の方は卒業年)明記して下さい。

申込締切 十二月二日(金)
問合せは学外活動委員会まで。
参加資格は原則として現在教職である方に限ります。
日本基督教団外の方も歓迎します。

ク社会福祉研究」(年一回)を発行している。
隔年毎の取り組みとして、キリスト教社会福祉の使命と責任を再確認するための理事長研修会、中堅職員研修会、キリスト教超教派の一〇の社会福祉団体によって組織されている二一世紀キリスト教社会福祉実践会議の研修等を実施している。

その他には、牧師や神学生の方々にキリスト教社会福祉実践現場への関心を深めて頂くため、同志社、関西学院、関西大学の神学部教授

会や同信会、成全会の代表、日本キリスト教保育所同盟の代表の方々と話し合いを継続している。
本同盟は、本年六月の定期総会で新体制が承認され、新理事長、新総幹事のもと新たな歩みを始めた。我が国では、福祉国家から福祉社会へ、施設中心から地域福祉へと大きな変化が起こっており、課題が山積している。主の導きによって教団との連携を更に深め、宣教の業に協働していくことが出来るように願っている。

東 海 近頃思うこと 北 紀吉

再度「教区コラム」の依頼を受けた。前回は副議長として、というこであったが、今回は議長として、教区の活動を中心に日頃考えていることを書くとのこと。つれづれに思う所を述べよう。

今や教区のあり方は様々である。共通していることは財政と互助であろうか。互助については何のためにかを考えなければならぬ。単に牧師の謝儀の支えであってはならない。伝道拠点の確保は

教区コラム

財政については、教団がそうしたように収入に見合った活動を考えていくべきである。活動として決議したのであれば、おたがい信じる道を行くべきである。動先行では最早持たない。伝道の停滞は、教会の力を大きくそいでいる。担い切れないものを無理には担えない。何よりも、教団が教区を置くのであるが、各教区は独自の歩みをしていく。今や教区議長の中に

御心と信じる。しかし、同じ地域に複数の教会がある場合は、互助ではなく、どうなるか、御心に任せてよい。
財政については、教団がそうしたように収入に見合った活動を考えていくべきである。活動として決議したのであれば、おたがい信じる道を行くべきである。動先行では最早持たない。伝道の停滞は、教会の力を大きくそいでいる。担い切れないものを無理には担えない。何よりも、教団が教区を置くのであるが、各教区は独自の歩みをしていく。今や教区議長の中に

(東海教区総会議長)



香川県豊島でのキリスト教社会福祉サマーキャンプ

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

伝道のともしび

これからの教会、形成中

使徒教会

つて、創設者の令嬢である大塚野百合姉は「まさに捨て身の戦法、火の玉のような情熱で伝道が行われた」と述懐する。

古くからの教会員は、今もその、使徒教会の命とも言すべき「神の守りを命がけて信じる」信仰を守り続けている。無牧の期間、教会が支えられてきたのも、その信仰に負うところが大きい。今でも、特別伝道集会などで、礼拝を訪れた牧師は、その礼拝、愛餐会のアウトホームな雰囲気驚くという。教会の課題や、悩みの相談も、そこで忌憚なく語られる。ある教

使徒教会は、今年六六周年を迎えた。閑静な住宅地の教会である。鹿児島で失明の宣告を受けた、大塚富吉牧師が救世軍を退会、ただ神だけを頼りに上京して、世田谷区北沢で開拓伝道を始めたのがきっかけだった。

伝道開始直後から、困難は多かった。大戦も経験し、迫害を受けた。しかし、不思議と支えられ、伝道が続けられてきた。後に富吉の妻、リツ牧師にキリスト教の啓発を与えた小学校教師、稲垣氏の遺族も加わって教会が支えられて来た。その頃の使徒教会をふり返

会員は「教会は心のふるさと」と語る。教会に来るのが一週間で唯一の喜びという人もいる。大塚姉も「信仰者として生きるのが一番の美容術」という。

しかし、今、使徒教会は時代という課題に直面している。教会員は高齢化し、人数も減ってきている。教会学校の奉仕者もいなくなり、閉鎖せざるを得なくなった。百円ショップの台頭後、バザーも奮わなくなった。近隣の住宅も、一人暮らしのアパートやマンションが増加し、地域の隣人を把握しにくい状況になっている。都市部の互いに干渉しないという地域性、ここに教会があることを知らない人も増えている。

高齢の住民は新しい信仰を受け入れにくい。しかもかつての教会学校の生徒も、代が変わると、地域を離れる傾向にあり、教会に繋がらない。世田谷という地域にあって、都市化のドーナツ現象のあおりを受けた形になっている。駅からのアクセスの悪さも、教会員減少の一因である。地域の人を招きにくく、遠方からの教会員も来にくい状況だ。教会の中で信仰を高め合い、教会を守るために一致団結をした。しかし信仰的に「一枚岩」だと思っていたことが、新来会者を受け入れづらい雰囲気へと変わっていた。昨年着任した松本のぞみ牧師は「夏期のレポートなどで青年が来て、高齢者ばかりで受け入れ方が分からなかったり、向こうが引いてしまったりして、定着に繋がらない」と言う。教会の中で充足し、外に目を向けることを忘れた教会の姿

がそこにはあった。

しかし、使徒教会は「ここに教会がある」ということを知らせるために動き始めた。「教会を支えてきた信仰、良いところはそのままに、礼拝中心、外に向かって開かれていく新しい教会形成を考えたいです」と、松本牧師は語る。

事実、松本牧師の着任以降、対外的な交わりが増えたという。

今までは狭さの問題もあつて消極的だった、会場提供などにも積極的に取り組んでいる。支区の音楽部の集会などに、会堂が用いられている。キリスト教主義学校の生徒らによる音楽集も行われた。七名の生徒が教会を訪れ、奉仕した。今年初めての試みとして、伝道献身者奨励日に神学生を招き、説教をしてもらった。交換講壇にも意欲を見せている。外からの注意を引くと同時に、自分たちも、受け入れることに慣れてゆこうという意欲がそこにはある。

高齢化した教会は、内に籠もりやすいとよく言われる。使徒教会も、その傾向にあった。しかし、彼らは、そこから外に目を向けようとしている。「ただ主だけが頼り」教会創立時の信仰を原点として、もう一度、歩み始めようとしている。この歩みを名付けるならば、「これからの教会、形成中」というところだろうか。



20 年ぶりに牧師を迎えた使徒教会就任式

(辻順子報)

小泉首相の靖国神社参拝に対する抗議声明

内閣総理大臣小泉純一郎様 私たち日本基督教団は、このたび10月17日の靖国神社の秋季例大祭にあなたが参拝されたことに強く抗議し、反対を声明します。先日、大阪高裁が首相の靖国神社参拝は、憲法の政教分離の原則に照らして憲法違反の疑念があると判決を下しました。このことは首相として深く受け止めていたのだと思います。まして、現在の靖国神社には平和条約11条で戦犯と日本が国際的に認めたA級戦犯14名も合祀され、英霊として祭られているのです。私たち日本基督教団も第二次世界大戦のとき、日本の国体協力し、日本が行ったアジアでの植民地支配と侵略戦争に加担しました。この私たちの罪責を1967年「第二次大戦下における日本基督教団の責任について」の告白」において言い表してきました。この点からも私たちは首相の靖国神社参拝に反対してきました。従いまして、首相が先日の閣議決定された首相談話で植民地支配と侵略戦争を謝罪した上で特に中国と韓国の名前をあげ「ともに手を携えてこの地域の平和を維持し、発展を目指す」との誓いを喜びました。しかし、今回の参拝は、この誓いを今国にたいして反古にするような行為であります。本当に「ともに手を携えてこの地域に平和を維持する」こ

とを願われるなら、もう首相として靖国神社への参拝は止めていただきたいと要請します。

2005年10月18日

日本基督教団 総会議長 山北宣久

委員 小出 望

委員 村田 元

靖国・天皇制問題小委員会

大型ハリケーン被害 緊急募金の要請

大型ハリケーン「カトリナ」による大きな被害はご存知のとおりです。日本基督教団では米国の諸教会を通して私たちの祈りと援助を届けたいと思います。出資多端のこととは存じますがよろしくご協力下さい。

募金の果実はPCUSA (合衆国長老教会)、CGM B (合衆国合同教会・クリスチャンチャーチ、UMC (メソジスト合同教会、RCA (米国改革派教会) の教団と交わりのある教会を通して届けます。

2005年9月7日

日本基督教団 総会議長 山北宣久

委員 小出 望

委員 村田 元

日本基督教団社会委員会

◆募金期間／2005年10月末まで受付しています

◆目標額／特に定めません

◆送金先／加入者名 日本基督教団、郵便振替／014001911452

◆通信欄に「ハリケーン募金」と記入下さい。

◆救済募金のお願い

バキスタン北部大地震

2005年10月8日バキスタン北部を中心に襲ったマグニチュード7.7震源の深さ約10kmの地震の被害はインド、アフガニスタンにも及んでいます。

犠牲者の数はバキスタンだけで2万人を超え、国連によると4万人に達する恐れもあるといわれています。また250万人もの人々が家を失ったと推定されています。

WCCとルーテル世界連盟でつくる人道支援組織 ACT(Actionby Churches Together)「世界の教会に救援募金を呼びかけました。現地での救援はACTのメンバーであるChurch World Service Pakistan /Afghanistan (CWSIP/A) /Norwegian Church Aid (NCA) によると4万人に達する恐れもあるといわれています。また250万人もの人々が家を失ったと推定されています。私達も祈りを以てこれに応じたいと思います。

2005年10月13日

日本基督教団社会委員会 委員長 小出 望

訂正 四五〇号二面、全国財務委員長会議欄、開催日「九月二六日午後四時三〇分から二七日正午まで」を「九月一九日午後四時三〇分から二〇日正午まで」に訂正いたします。

「敬神奉仕」。この標語は、東洋英和女学院の建学の精神だが、片山知子さんは、今でも常にここに立ち帰るといふ。

子どもの頃から近くの鳥居坂教会の教会学校に通い、東洋英和女学院の高校一年生の時に洗礼を受けた。

「あこがれの人たちが周りにたくさんいました。この頃、世も教会も紛争の時代に突入するが、教会学校や東洋英和女学院の多くの教師たちと接しながら、キリスト者としての確かな歩みを自然と見せられた。そうして、キリスト教保育への道が備えられた。

東洋英和女学院の保育科を卒業して、付属幼稚園に七年間奉職する。

後に立教大学に編入学し、あらためて教育学を学んだ。結婚してからは保育の現場から離れるが、一男一女を与えられ、その間、恩師のいる横浜の時田教会に移って教会教育プログラムにもかかわらずもたらした。親の立場で教育に接するチャンスが与えられたのだとらえて、子育てを楽しませてもらいました」と笑う。

やがて短大時代の恩師に声を掛けられ、現在の職場で保育の現場に復帰して二年目になる。「若い時はただ一生懸命で、キリスト教保育の理解が弱かった」と振り返る。

「子ども本意のびのび育てる」ということが極端になると、他者のことを考えることが弱くなって、自己中心に偏ってしまう。子どもたちの中での問題は人間そのものの問題として出てくる。それに関わる教育者は、はつきりした価値観、人間観を持つていたい。まずは教会あつてこそ。現在の教育システムのなかで、キリスト教独自の働きかけをもっているはず。何が違つか、自問の毎日です。

今日、幼稚園の存在意義も問われる時代となったが、地域や家庭も視野に入れて、「敬神奉仕」に立ち帰りながら、改めてキリスト教保育への意欲を燃やす。



片山知子さん

「敬神奉仕」でキリスト教保育にチャレンジ



1953 年生まれ。本牧めぐみ幼稚園副園長。日本保育学会員。本牧めぐみ教会員。

014001911452

75

◆通信欄に「ハリケーン募金」と記入下さい。

◆救済募金のお願い

バキスタン北部大地震

2005年10月8日バキスタン北部を中心に襲ったマグニチュード7.7震源の深さ約10kmの地震の被害はインド、アフガニスタンにも及んでいます。

犠牲者の数はバキスタンだけで2万人を超え、国連によると4万人に達する恐れもあるといわれています。また250万人もの人々が家を失ったと推定されています。

WCCとルーテル世界連盟でつくる人道支援組織 ACT(Actionby Churches Together)「世界の教会に救援募金を呼びかけました。現地での救援はACTのメンバーであるChurch World Service Pakistan /Afghanistan (CWSIP/A) /Norwegian Church Aid (NCA) によると4万人に達する恐れもあるといわれています。また250万人もの人々が家を失ったと推定されています。私達も祈りを以てこれに応じたいと思います。

2005年10月13日

日本基督教団社会委員会 委員長 小出 望

訂正 四五〇号二面、全国財務委員長会議欄、開催日「九月二六日午後四時三〇分から二七日正午まで」を「九月一九日午後四時三〇分から二〇日正午まで」に訂正いたします。

014001911452

75

◆通信欄に「ハリケーン募金」と記入下さい。

◆救済募金のお願い

バキスタン北部大地震

2005年10月8日バキスタン北部を中心に襲ったマグニチュード7.7震源の深さ約10kmの地震の被害はインド、アフガニスタンにも及んでいます。

犠牲者の数はバキスタンだけで2万人を超え、国連によると4万人に達する恐れもあるといわれています。また250万人もの人々が家を失ったと推定されています。

WCCとルーテル世界連盟でつくる人道支援組織 ACT(Actionby Churches Together)「世界の教会に救援募金を呼びかけました。現地での救援はACTのメンバーであるChurch World Service Pakistan /Afghanistan (CWSIP/A) /Norwegian Church Aid (NCA) によると4万人に達する恐れもあるといわれています。また250万人もの人々が家を失ったと推定されています。私達も祈りを以てこれに応じたいと思います。

2005年10月13日

日本基督教団社会委員会 委員長 小出 望

訂正 四五〇号二面、全国財務委員長会議欄、開催日「九月二六日午後四時三〇分から二七日正午まで」を「九月一九日午後四時三〇分から二〇日正午まで」に訂正いたします。

014001911452

75

◆通信欄に「ハリケーン募金」と記入下さい。

◆救済募金のお願い

バキスタン北部大地震

2005年10月8日バキスタン北部を中心に襲ったマグニチュード7.7震源の深さ約10kmの地震の被害はインド、アフガニスタンにも及んでいます。

犠牲者の数はバキスタンだけで2万人を超え、国連によると4万人に達する恐れもあるといわれています。また250万人もの人々が家を失ったと推定されています。

WCCとルーテル世界連盟でつくる人道支援組織 ACT(Actionby Churches Together)「世界の教会に救援募金を呼びかけました。現地での救援はACTのメンバーであるChurch World Service Pakistan /Afghanistan (CWSIP/A) /Norwegian Church Aid (NCA) によると4万人に達する恐れもあるといわれています。また250万人もの人々が家を失ったと推定されています。私達も祈りを以てこれに応じたいと思います。

2005年10月13日

日本基督教団社会委員会 委員長 小出 望

訂正 四五〇号二面、全国財務委員長会議欄、開催日「九月二六日午後四時三〇分から二七日正午まで」を「九月一九日午後四時三〇分から二〇日正午まで」に訂正いたします。

「敬神奉仕」。この標語は、東洋英和女学院の建学の精神だが、片山知子さんは、今でも常にここに立ち帰るといふ。

子どもの頃から近くの鳥居坂教会の教会学校に通い、東洋英和女学院の高校一年生の時に洗礼を受けた。

「あこがれの人たちが周りにたくさんいました。この頃、世も教会も紛争の時代に突入するが、教会学校や東洋英和女学院の多くの教師たちと接しながら、キリスト者としての確かな歩みを自然と見せられた。そうして、キリスト教保育への道が備えられた。

東洋英和女学院の保育科を卒業して、付属幼稚園に七年間奉職する。

後に立教大学に編入学し、あらためて教育学を学んだ。結婚してからは保育の現場から離れるが、一男一女を与えられ、その間、恩師のいる横浜の時田教会に移って教会教育プログラムにもかかわらずもたらした。親の立場で教育に接するチャンスが与えられたのだとらえて、子育てを楽しませてもらいました」と笑う。

やがて短大時代の恩師に声を掛けられ、現在の職場で保育の現場に復帰して二年目になる。「若い時はただ一生懸命で、キリスト教保育の理解が弱かった」と振り返る。

「子ども本意のびのび育てる」ということが極端になると、他者のことを考えることが弱くなって、自己中心に偏ってしまう。子どもたちの中での問題は人間そのものの問題として出てくる。それに関わる教育者は、はつきりした価値観、人間観を持つていたい。まずは教会あつてこそ。現在の教育システムのなかで、キリスト教独自の働きかけをもっているはず。何が違つか、自問の毎日です。

今日、幼稚園の存在意義も問われる時代となったが、地域や家庭も視野に入れて、「敬神奉仕」に立ち帰りながら、改めてキリスト教保育への意欲を燃やす。

後に立教大学に編入学し、あらためて教育学を学んだ。結婚してからは保育の現場から離れるが、一男一女を与えられ、その間、恩師のいる横浜の時田教会に移って教会教育プログラムにもかかわらずもたらした。親の立場で教育に接するチャンスが与えられたのだとらえて、子育てを楽しませてもらいました」と笑う。

やがて短大時代の恩師に声を掛けられ、現在の職場で保育の現場に復帰して二年目になる。「若い時はただ一生懸命で、キリスト教保育の理解が弱かった」と振り返る。

「子ども本意のびのび育てる」ということが極端になると、他者のことを考えることが弱くなって、自己中心に偏ってしまう。子どもたちの中での問題は人間そのものの問題として出てくる。それに関わる教育者は、はつきりした価値観、人間観を持つていたい。まずは教会あつてこそ。現在の教育システムのなかで、キリスト教独自の働きかけをもっているはず。何が違つか、自問の毎日です。

今日、幼稚園の存在意義も問われる時代となったが、地域や家庭も視野に入れて、「敬神奉仕」に立ち帰りながら、改めてキリスト教保育への意欲を燃やす。

014001911452

75

◆通信欄に「ハリケーン募金」と記入下さい。

◆救済募金のお願い

バキスタン北部大地震

2005年10月8日バキスタン北部を中心に襲ったマグニチュード7.7震源の深さ約10kmの地震の被害はインド、アフガニスタンにも及んでいます。

犠牲者の数はバキスタンだけで2万人を超え、国連によると4万人に達する恐れもあるといわれています。また250万人もの人々が家を失ったと推定されています。

WCCとルーテル世界連盟でつくる人道支援組織 ACT(Actionby Churches Together)「世界の教会に救援募金を呼びかけました。現地での救援はACTのメンバーであるChurch World Service Pakistan /Afghanistan (CWSIP/A) /Norwegian Church Aid (NCA) によると4万人に達する恐れもあるといわれています。また250万人もの人々が家を失ったと推定されています。私達も祈りを以てこれに応じたいと思います。

2005年10月13日

日本基督教団社会委員会 委員長 小出 望

訂正 四五〇号二面、全国財務委員長会議欄、開催日「九月二六日午後四時三〇分から二七日正午まで」を「九月一九日午後四時三〇分から二〇日正午まで」に訂正いたします。